

業務用 生ごみ処理機

エコエコ

手間がかからず、
省エネルギー生ごみ処理機の決定版

生ごみ処理機導入でお悩みの方に朗報！
わかりやすい差別化です



ごく平凡な生ごみ処理機です。

パクパクは、発酵熱を利用し、生ごみを減量化する生ごみ処理機です。発酵時間を短縮化するために、加熱し発酵微生物（好気性高温菌）の活性を促し、1日で高速発酵させます。

多くのメーカーが採用しており、実績も豊富な方式です。



単槽式 週に1日以上休みの有る事業所向け

[学校、社員食堂、保育園、幼稚園]



二槽式 毎日生ごみが出る事業所向け

[ホテル、病院、老人ホーム、スーパーマーケット、外食産業]

ずっとつきあっていく生ごみ処理機です。

生ごみの処理能力50kg/日で月間の消費電力が約290kw/月(単槽式、微生物脱臭装置使用時)です。菌やモミガラなどの定期補充も必要ありません。経済的です。

※周囲の環境や気温状況により変動があります。

投入扉 ごみ箱感覚の簡単操作

ある程度のビニールや箸などの混入であれば、そのまま投入しても大丈夫。処理完了後は生ごみがサラサラとした処理品となっているので容易に分別できます。

投入直後の様子

生ごみ処理機に生ごみを投入した直後の様子です。あらかじめ水分調整材が入っている槽に生ごみを投入します。攪拌羽により、効率良く混合され、水分率を調整、空気を送り込みます。



発酵槽 菌・水分調整材追加投入不要

定期的に菌やモミガラなどの水分調整剤を補充する必要がありません。

蓄積槽 生ごみを減量化し、無害化

投入した生ごみが5分の1程度に減量され、処理品はサラサラでにおいもありません。高温(槽内温度を55~60℃)で有害微生物・病原菌を不活性化するので安心です。

1日経過した状態

ヒーターにより、微生物の活性化する温度領域(50℃~60℃)を維持し、発酵を促します。微生物が活性化すると発酵熱が発生する為、ヒーターによる加熱時間は数時間程度です。24時間後には、発酵分解を終え、処理品となります。



排出口 簡単取りだし。自動排出機構

ボタン一つで自動的に減量化した処理品が排出され、取り出し作業が簡単です。

処理品を簡単に再利用

処理品は土壌改良材として使用できます。

処理品排出状態



処理品を排出する際に30~40%程度の処理品を槽内に残します。残した処理品は、次回発酵の際の種菌となり、追加の資材や菌の投入は不要となります。

排気口 状況に応じて選択

排気方法に選択性を持たすことにより、無駄な投資を抑え、経済性の向上を可能としました。

自然排気

脱臭措置を行わず排気する方法です。パクパクの排気風量はわずかですので、排気を上方にあげることで容易に希釈されます。



充填式微生物脱臭装置

給排水が必要となりますが、自然の微生物により脱臭をおこなうので経済性は非常に高く、環境にやさしい脱臭方法です。



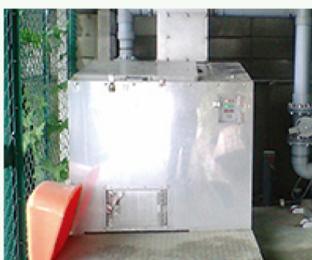
触媒燃焼式脱臭装置

臭気を燃焼させるため経済性に劣りますが給排水は不要です。



※イメージイラストは二槽式です

▼ 導入事例



50kg/日



80kg/日



120kg/日



450kg/日

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱い説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご留意事項

- 機種選定に際しては、当社もしくは、取扱い代理店へお申し付けください。
- 本装置は生ごみ処理機ですので、投入物は生ごみのみとなります。金属などの固いもの、雑誌、単独の液状物、多量の油などは投入しないでください。
- 屋外設置の場合は、ひさしのあるところで使用し、アースをしてください。
- サービス・保守は当社もしくは、当社指定のサービス会社にて実施します。最良の状態にてお使いいただくため、保守点検契約終結をお奨めします。
- 製品の外観、仕様などは、改良による品質向上のため予告なく変更する場合があります。
- このカタログは平成17年10月現在のものです。

このカタログの内容についてのお問い合わせ

製造販売元



ヤマトヨ産業株式会社

環境事業部 TEL.072-967-1581

本社 / 大阪府東大阪市高井田本通7-7-19

<http://www.yamatoyo-san.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆インキを使用しています。